

原色の飛び交う街へ

Boojil (ブージュル)

プロフィール
1984年生まれ。イラストレーター、エッセイスト。海外ひとり旅から生まれた極彩色でピースフルな作風で、観る人を優しい気持ちにしてくれる不思議な力を持つアーティスト。昨年NHK Eテレで番組『おかつぱちゃん旅に出る』（小学館文庫）がアニメ化され話題。 <http://boojil.com/>

ちょうど六年前、とある雑貨屋でメキシコの民芸品に心を奪われた。極彩色に彩られた色彩感覚の鋭さ、ユニークなモチーフ。ドキドキする。創作意欲が瞬時に湧いた。いてもたってもいられず、わたしはメキシコにひとり、旅に出た。飛行機で二五時間かけてメキシコシティへ。その後七時間バスに乗り、民芸品の種類の多さで有名なオアハカと言う田舎町へ。初めて訪れるオアハカの町並みは、どこを歩いてもカラフルで絵の具を散りばめたパレットのよう。太陽が燦々^{きらきら}と輝く空の下、ブーゲンビリアが咲き乱れ、空のブルー、花のピンクの美しいコントラストがわたしをすっかり魅了した。帰国後、「色の組み合わせに決まりなどない」と感じ、わたしの作風は一変した。もっと自由に今まで以上にカラフルな絵を描くようになった。

あれから月日は流れ、五年もの間わたしはずっとメキシコに想いを馳せていた。「メキシコで民芸品作りを学びたい」。日本での活動を休止し、昨年わたしは長年の夢だったメキシコ留学を決意する。大きな期待を胸に飛行機に乗り込んだ。無事到着したのはいいがその後事件は起こった。到着して一〇日目、なんとわたしはメキシコシティで拳銃強盗の被害に遭い、発砲され貴重品を全て盗まれるという恐怖の体験をする。しかも日中のタコス屋である。しかし不幸中の幸い、わたしは無傷だった。心は不安で固められ、わたしの頭を悩ませた。「今すぐに日本に帰る？ 帰らない？ 今帰ったら、もう二度とここには戻らないだろう」。一週間ホテルで悩んだ末、再発行されたパスポートを手に、勇気を出してここに残ることを決めた。後悔はしなくなかった。留学先は大好きなオアハカ。長距離バスに乗り南へ。車窓から外の景色を見ていた。乾いた大地に咲くたくましい大きなサボテンたち。雄大な景色を眺めながら私はひとり泣いていた。街に着くまでの時間、何度も自分を励ました。

1	エッセイ 千字文 原色の飛び交う街へ Boojil	14	地球ミュージアム紀行 北アリゾナ博物館 伊藤 敦規
2	特集 稲作以後	16	多文化をあきなう 地域と世界がつながるフェアトレード 土井 ゆきこ
2	2 佐々木高明元館長の人と学問 樫永 真佐夫	18	フィールドで考える 物理学者のフィールドワーク 中家 剛
4	4 イネの栽培化のはじまり 那須 浩郎	20	人間学のキーワード マーケットデザイン 安田 洋祐
5	5 「水田文化」という視座 安室 知	21	異聞逸聞 ベトナム市民社会フォーラムの誕生 伊藤 正子
7	7 からっぽな手 ——戦後秋田の『農民詩集』から 藤原 辰史	22	制服の世界、世界の制服 王宮の楽師——ジャワ島西部チルポンのスカテン 福岡 正太
8	8 米食悲願民族の食卓 原田 信男	24	次号予告・編集後記
10	似たモノさがし みんなのマドンナたち 古沢 ゆりあ		
12	みんなのInformation		

月刊

みんなの

12月号日次